

国名: マレーシア

	項目	内容	調査方法・情報源
1)	EPAs/FTAs	(i) 日本・マレーシア経済連携協定(JMEPA) 2005年12月13日署名 ¹ 2006年7月13日発効 ² (ii) 日本・アセアン包括的経済連携協定(AJCEP) 2008年4月14日署名 ³ 2009年2月1日発効 ⁴ (iii) 地域的な包括的経済連携協定(RCEP) 2020年11月15日署名 ⁵ 2022年3月18日発効 ⁶ (iv) アセアン物品貿易協定(ATIGA) 2009年2月26日署名 ⁷ 2010年5月17日発効 ⁸ (v) アセアン・オーストラリア・ニュージーランド自由貿易地域(AANZFTA) 2009年2月27日署名 ⁹ 2010年1月1日発効 ¹⁰ (vi) アセアン中国自由貿易地域(ACFTA) 2002年11月4日署名 ¹¹ 2003年7月1日発効 ¹² (vii) アセアン韓国自由貿易地域(AKFTA) 2005年12月13日署名 ¹³ 2006年7月1日発効 ¹⁴	情報源: マレーシア国際貿易産業省(Ministry of Investment, Trade and Industry: MITI)、マレーシア投資開発(MIDA)及びアセアンの公式ウェブサイト

¹ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/malaysia-japan?mid=45>

² 同上

³ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/asean-japan?mid=36>

⁴ 同上

⁵ <https://asean.org/asean-hits-historic-milestone-with-signing-of-rcep/>

⁶ <https://www.mida.gov.my/mida-news/rcep-comes-into-force-for-malaysia-on-march-18-2022-miti/>

⁷ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/asean-afta>

⁸ Ibid

⁹ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/asean-australia-newzealand?mid=32>

¹⁰ Ibid

¹¹ [6-2002 - Framework Agreement on Comprehensive Economic Co-operation between ASEAN and China.pdf](https://www.miti.gov.my/midi-2002-framework-agreement-on-comprehensive-economic-co-operation-between-asean-and-china.pdf)

¹² <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/4?mid=23>

¹³ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/asean-korea?mid=37#:~:text=Subsequently%2C%20the%20ASEAN%2DKorea%20Free.effect%20on%201%20January%202010.>

¹⁴ Ibid

本調査は、JETRO バンコクの依頼によりベーカーマッケンジー法律事務所バンコクオフィスが元請負先として、2023年1月末時点の情報に基づき取りまとめたものです。本調査は、各種自由貿易協定について一般的かつ一次的な情報を提供するものです。個別の輸出入や自由貿易協定の手続きに関しては、最新の法令及び実務対応等をご確認ください。

		<p>(viii) アセアン・インド自由貿易地域 (AIFTA) 2003年10月8日署名¹⁵ 2010年1月1日発効¹⁶</p> <p>(ix) アセアン香港自由貿易地域(AHKFTA) 2017年11月12日署名¹⁷ 2019年10月13日発効¹⁸</p>													
2)	発給機関	<p>輸出の場合 MITI が、特恵関税待遇申請のためのマレーシアにおける輸出国としての特恵原産地証明書(PCO)発給当局¹⁹</p> <p>輸入の場合 マレーシア関税局(Royal Malaysian Customs Department: RMCD)が、マレーシアへの輸入の特恵関税に対応する原産地証明書を検査・承認する権限を有する。</p>	情報源: MITI のウェブサイト及び MITI へ照会												
3)	発給手数料	<p>PCO の申請は、オンライン・プラットフォーム DagangNet を通じて行う。²⁰</p> <p>DagangNet のアカウント取得に初回のみ登録手数料が必要。手数料の金額は、PCO 申請法人の種類によって異なる。²¹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>法人の種類</th> <th>手数料(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業</td> <td>RM 530</td> </tr> <tr> <td>中小企業(SME)</td> <td>RM 212</td> </tr> </tbody> </table> <p>登録手数料の他、DagangNet アカウント維持・使用料として二つのプランがある。²²</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プラン</th> <th>手数料(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタンダード・プラン (年間 60 件以上の 場合)</td> <td>年間手数料 RM 212 + PCO 一件につき RM 5.30</td> </tr> <tr> <td>イーバリュー・プラン (年間 60 件未満の場 合)</td> <td>PCO 一件につき RM 8.50</td> </tr> </tbody> </table>	法人の種類	手数料(税込)	企業	RM 530	中小企業(SME)	RM 212	プラン	手数料(税込)	スタンダード・プラン (年間 60 件以上の 場合)	年間手数料 RM 212 + PCO 一件につき RM 5.30	イーバリュー・プラン (年間 60 件未満の場 合)	PCO 一件につき RM 8.50	情報源: DagangNet のウェブサイト及び DagangNet へ照会
法人の種類	手数料(税込)														
企業	RM 530														
中小企業(SME)	RM 212														
プラン	手数料(税込)														
スタンダード・プラン (年間 60 件以上の 場合)	年間手数料 RM 212 + PCO 一件につき RM 5.30														
イーバリュー・プラン (年間 60 件未満の場 合)	PCO 一件につき RM 8.50														

¹⁵ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/asean-india?mid=35>

¹⁶ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/4?mid=23>

¹⁷ <https://fta.miti.gov.my/index.php/pages/view/asean-hongkong-china>

¹⁸ Ibid

¹⁹ [Kementerian Perdagangan Antarabangsa dan Industri \(miti.gov.my\)](http://Kementerian Perdagangan Antarabangsa dan Industri (miti.gov.my))

²⁰ [DNEX \(dagangnet.com.my\)](http://DNEX (dagangnet.com.my))

²¹ 同上

²² 同上

4)	必要書類／申請手順	<p>PCO 申請は基本的に、次の 3 つの手順になる。²³</p> <p>1. DagangNet に登録</p> <p><u>必要書類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 企業登記簿 (Form 9 及び／又は Form 13 又は同等の書類を含む) ▪ マレーシア企業委員会 (Companies Commission of Malaysia: CCM) への提出書類 (Form 49、Form 24、Section 14、Section 68 (取締役の詳細) 又は同等の書類、及び CCM の事業プロフィールを含む) ▪ 従業員のプロビデントファンド (EPF) の明細書写し (真正写し証明署名入り) 又は最新の監査済み財務諸表 (収入の部分のみ) ▪ 申請者の業種 (製造業、輸出入業等) によってその他の関連書類 <p><u>所要期間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 約 2～3 営業日 <p>2. 原産性判定のためのコスト分析 (CA) 申請²⁴</p> <p><u>必要書類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 確認済み HS コード票 (完成品及び原材料) ▪ 製造／事業ライセンス ▪ 原材料のインボイス ▪ 商品カタログ ▪ 製造工程表 ▪ (製造者から輸出入者への) 任命状 <p><u>所要期間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 約 5 営業日 <p><u>CA の有効期間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 一般的に 2 年間 <p>3. PCO 申請</p> <p><u>輸出前の PCO 申請に必要な書類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ インボイス ▪ パッキングリスト <p><u>輸出後の PCO 申請に必要な書類</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ インボイス ▪ パッキングリスト 	<p>情報源: MITI 及び DagangNet のウェブサイト及び DagangNet へ照会</p>
----	-----------	--	---

²³ 同上

²⁴ [Kementerian Pelaburan, Perdagangan dan Industri \(miti.gov.my\)](http://kementerianpelaburan.perdagangan.dan.industri.miti.gov.my)

		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 船荷運送証券 ▪ 通関輸出申告書(K2 form). <p>所要期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 約 1～3 営業日 	
5)	電子ファイル提出	<p>マレーシアの全ての PCO 申請は DagangNet にてオンラインで提出。</p> <p>また、電子 PCO の発給及び受領は、利用する自由貿易協定による。現在、マレーシアは ASEAN Single Window の一部であり、Malaysian National Single Window (NSW) を通じて ATIGA 用電子 PCO (e-Form D) の発給及び受領が可能。²⁵</p>	<p>情報源： MITI 及び RMCD のウェブサイト。 MITI に照会。</p>
6)	遡及発給	<p>AJCEP、MJEPA、RCEP、ATIGA、AANZFTA、ACFTA、AKFTA、AIFTA 及び AHKFTA では、基本的に PCO の遡及発給は可能。²⁶</p>	<p>情報源： MITI のウェブサイト。 MITI へ照会。</p>
7)	再発給	<p>忘失・破損等の場合、PCO 再発給は基本的に可能。²⁷</p> <p>ただし、再発給申請理由を説明する正式な説明文書の提出が必要。</p> <p>PCO 忘失の場合、上述の説明文書とともに、PCO 忘失に関する警察届出の提出も必要。</p>	<p>情報源： MITI へ照会</p>
8)	第三国インボイス	<p>MJEPA、AJCEP、RCEP、ATIGA、AANZFTA、ACFTA、AKFTA、AIFTA 及び AHKFTA では発給可能。</p> <p>基本的に、PCO には、インボイスを発行する会社／者の正式名、住所を記載する必要あり。</p>	<p>情報源： 各協定の関連条項及び MITI へ照会</p>
9)	連続する原産地証明書 (Back-to-back)	<p>AJCEP、RCEP、ATIGA、AANZFTA、ACFTA、AKFTA、AIFTA 及び AHKFTA では、Back-to-back 原産地証明書の発給手続きが可能。</p>	<p>情報源： MITI へ照会</p>

²⁵ <https://www.miti.gov.my/index.php/pages/view/3911>

²⁶ https://www.miti.gov.my/miti/resources/Preferential%20Certificate%20of%20Origin/Introduction_to_Preferential_to_Certificate_of_Origin_2020.pdf

²⁷ [Kementerian Pelaburan, Perdagangan dan Industri \(miti.gov.my\)](http://Kementerian_Pelaburan,_Perdagangan_dan_Industri_(miti.gov.my))

	certificate of origin)		
10)	非加工証明書	マレーシアでは、基本的に AJCEP、MJEP A、RCEP、ATIGA、AANZFTA、ACFTA、AKFTA、AIFTA 及び AHKFTA での非加工証明書の発給は不可。	情報源： MITI へ照会。
11)	累積必要書類	基本的に AJCEP、MJEP A、RCEP、ATIGA、AANZFTA、ACFTA、AKFTA、AIFTA 及び AHKFTA では累積が認められる。関連書類として、原産地証明書の提出が必要。	情報源： MITI へ照会。

調査日(確認日):2023年6月8日

本調査は、JETRO バンコクの依頼によりペーカーマッケンジー法律事務所バンコクオフィスが元請負先として、2023年1月末時点の情報に基づき取りまとめたものです。本調査は、各種自由貿易協定について一般的かつ一次的な情報を提供するものです。個別の輸出入や自由貿易協定の手続きに関しては、最新の法令及び実務対応等をご確認ください。